

船舶部門日本産業規格（JIS F）原案の作業計画

（新規 JIS F 原案 2 件、既存 JIS F 規格の改正原案 3 件）

2022/09/30

一般財団法人 日本船舶技術研究協会

新規 JIS F 原案の作成作業への着手_1

【第 32 回標準部会で作業計画が承認（2020 年 9 月 30 日）】

1. 規格番号及び規格名称
JIS F xxxx:202x, アルミニウム船—アルミニウム合金製ダビット
2. 規格概要
この規格は、搭載艇，錨のつり揚げなどに用いる使用荷重 1～5kN のアルミニウム合金製一般ダビットの設計、製造要件等について規定している。
3. 制定の目的と期待・効果
この規格の制定によって、アルミニウム合金製ダビットの設計，工作，維持管理の利便性向上、生産及び取引の合理化、品質の向上、製作コストの低減などが期待される。
4. 規定する箇条の構成（主な規定項目）
1 適用範囲 2 引用規格 3 用語及び定義 4 種類
5 構造，形状及び寸法 6 試験及び検査 7 材料
8 製品の呼び方 9.表示
5. 対応国際規格との整合性
対応なし
6. 担当分科会
甲板機械及びぎ装分科会／小型高速艇用アルミニウム艀装品設計基準規格原案作成 WG
7. 原案作成期間（予定）
2020 年 9 月 30 日 ～ 2021 年 9 月 29 日

【第 33 回標準部会で作業計画が承認（2021 年 3 月 1 日）】

1. 規格番号及び規格名称

JIS F xxxx:202x, 電子海図表示装置

2. 規格概要

船舶に搭載する航海情報を表示させ、航海を支援することを目的に、基本機能の充実を図り、追加および拡張機能を有した画面表示の自由度を高く設定した、「電子海図表示装置」の機能要件及び試験方法について規定する。

3. 制定の目的と期待・効果

近年の船舶におけるデータ活用強化の流れに伴い、ECDIS（電子海図情報表示装置）においては S-100 改定議論が進んでおり、また、それに先行する形で電子海図表示装置の普及も進んでいる。しかし、それら電子海図表示装置の機能・品質は区々であり、船舶航行の安全性に影響を及ぼしかねない懸念もあることを踏まえ、電子海図表示装置における安全航行に要求される明確な基準を策定することで、それらを使用する船舶の航行安全を寄与することを目的とするものである。本規格にて日本国での安全実績を蓄積し、国際規格へ昇華することで、全世界的な電子海図システムの標準化による安全航行の効果が期待できる。

4. 規定する箇条の構成（主な規定事項）

- 1 適用範囲, 2 引用規格, 3 用語及び定義,
- 4 機能要件, 5 試験方法

5. 対応国際規格との整合性

対応国際規格なし

6. 担当分科会

航海分科会／電子海図 WG

7. 原案作成期間（予定）

2021 年 3 月 2 日～2022 年 3 月 1 日

【第 31 回標準部会で作業計画が承認（2020 年 2 月 26 日）】

1. 規格番号及び規格名称
JIS F 8443:202x, 船用フラッドライト
2. 規格概要
船で用いる電源電圧 250 V 以下の各種の電球, ランプ及び LED を光源とするフラッドライトについて規定する。
3. 改正の目的と期待・効果
LED 灯の要件を追加することを目的として、改正を行う。JIS F 8443 へ LED 灯の要件を追加することにより、船用フラッドライトに於ける LED 灯の普及及び安全基準の作成に資することが期待される。
4. 改正する箇所と要点
LED 灯の要件を追加する。
5. 対応国際規格との整合性
対応国際規格なし
6. 担当分科会
電気設備分科会
7. 原案作成期間（予定）
2020 年 2 月 26 日～2021 年 2 月 25 日

【第 35 回標準部会で作業計画が承認（2022 年 2 月 24 日）】

1. 規格番号及び規格名称

JIS F 2805 船舶及び海洋技術－海上安全－膨脹式救命器具のガス膨脹システム

2. 規格概要

この規格は、高圧ガス容器中の高圧ガスを膨脹手段とし、高圧ガス容器弁、高圧ガス容器カット装置、高圧ホース、圧力開放／送気バルブ、膨脹／排気バルブ、逆止弁などによって構成されるガス膨脹システムの性能及び試験に関する要求事項について規定している。

3. 改正の目的と期待・効果

最新の対応国際規格である ISO 15738:2019 の規定と整合化を図ることを目的とする。これによって、当該規格の規定内容が普及し、ガス膨脹システムの設計・製造の合理化、品質の向上に寄与することが期待できる。

4. 規定する箇条の構成（主な規定項目）

1 適用範囲 2 引用規格 3 用語及び定義 4 高圧ガス容器－塩水噴霧試験 5 膨脹用ガス 6 高圧ガス容器弁及びカット装置 7 バルブ－圧力開放バルブ／送気バルブ、膨脹／排気バルブ、逆止弁 8 ガス膨脹システムの適合性 9 設置

5. 対応国際規格との整合性

ISO 15738:2019 (IDT:一致)

6. 担当分科会

救命分科会

7. 原案作成期間（予定）

2022 年 2 月 25 日 ～2022 年 9 月 30 日

【第 35 回標準部会で作業計画が承認（2022 年 2 月 24 日）】

【第 36 回標準部会で JIS F 原案が承認（2022 年 9 月 30 日）】

【産業標準化法第 12 条に基づき、国土交通大臣へ申出完了（2022 年 11 月 11 日）】

1. 規格番号及び規格名称

JIS F 8061 船用電気設備－第 101 部：定義及び一般要求事項

2. 規格概要

この規格は、船舶に搭載する電気設備の設計、製造等において考慮すべき安全性要求事項、環境条件などの一般的事項について規定している。

3. 改正の目的と期待・効果

最新の対応国際規格である IEC 60092-101:2018 の規定と整合化を図ることを目的とする。これによって、当該規格の規定内容が普及し、船用電気設備の設計・製造の合理化、品質の向上に寄与することが期待できる。

4. 規定する箇条の構成（主な規定項目）

1 適用範囲 2 引用規格 3 用語及び定義 4 一般要求事項（環境条件、材料、絶縁距離、外被の保護等級など。）

5. 対応国際規格との整合性

IEC 60092-101:2018 (IDT:一致)

6. 担当分科会

電気設備分科会

7. 原案作成期間（予定）

2022 年 2 月 25 日 ～2022 年 9 月 30 日